

2025 年度定時社員総会

開催日時 2025 年 6 月 28 日(土) 13 時 15 分から 14 時 25 分

開催場所 千葉県千葉市美浜区中瀬 2-1 幕張メッセ コンベンションホール A (第一会場)

議事の経過及び結果

定款 38 条により神崎恒一会長が議長となった。議長より社員 620 名中 338 名(出席者 62 名、委任状出席 276 名)の出席があり、定款 40 条 1 項に定める定足数を満たしている旨の報告がされ物故会員に対し黙とうが捧げられた後、議事に入った。

第 1 議案 議事録署名人選任

定款 42 条に従い議事録署名人として神崎恒一会長、大石充副理事長、飯島勝矢副理事長が選任された。

第 2 議案 2024 年度事業報告及び 2024 年度収支決算

神崎恒一理事長より 2024 年度事業報告、庶務の概要、会員の異動情報について報告がされた。続いて大石充財務委員長より 2024 年度収支決算書、貸借対照表、財産目録について資料に基づき説明が行われた。次に山本浩一監事より上記書類は適正に処理されており妥当であるとの監査報告があり、他の監事も同意見である旨が述べられた。ついで、議長がその承認を議場に諮ったところ全員異議なく承認可決された。

第 3 議案 2025 年度事業計画及び収支予算

理事長より 2025 年度事業計画について報告がされた。続いて財務委員長より 2025 年度収支予算について説明が行われ、議場に諮ったところ異議なく承認可決された。

第 4 議案 役員選任

理事長より 2024 年度に実施された代議員選挙の経緯及び結果について説明が行われ異議なく承認可決した。続いて定款 22 条により本定時社員総会の終結をもって安藤富士子氏、山田祐一郎氏、樂木宏実氏の 3 名が理事を、会田薫子氏、山本浩一氏の 2 名が監事を退任すること、役員の任期が満了になるため秋下雅弘氏、荒井秀典氏、飯島勝矢氏、江頭正人氏、海老原覚氏、大石充氏、大黒正志氏、北岡裕章氏、神崎恒一氏、新村健氏、武地一氏、長井篤氏、久原真氏、古川勝敏氏、横手幸太郎氏を重任の理事として、会田薫子氏(東京大学 教授)、小川純人氏(東京大学 教授)、山本浩一氏(大阪大学 教授)を新任の理事とすること、清水聰一郎氏を重任の監事として、浦野友彦氏(国際医療福祉大学 教授)、杉本研氏(川崎医科大学 教授)を新任の監事とすることが提案され、議長がその承認を議場に諮ったところ全員異議なく承認可決した。

第 5 議案 名誉会員および特別会員

理事長より定款 7 条及び定款細則第 3 条 1 項の規定に従い安藤富士子氏、樂木宏実氏を名誉会員に推薦することが提案され承認可決した。

定款 7 条及び定款細則第 3 条 3 項の規定に従い 12 名を特別会員に推薦することが提案され承認可決した。

第 6 議案 定款細則の改訂

理事長より新規で休会制度を設けること、また役員選任の具体的な方法について定めることについて説明があり、定款の当該部分に改訂が必要であることが説明された。ついで議長がその承認を議場に諮ったところ全員異議なく承認可決した。本会定款の第 3 章 会員 第 10 条と、第 5 章 役員 第 20 条を改訂することが説明され、承認可決した。

第 7 議案 第 70 回、第 71 回日本老年医学会学術集会会長

第 70 回日本老年医学会学術集会(2028 年)の会長に海老原覚氏が推薦され、承認可決した。続いて、第 71 回日本老年医学会学術集会(2029 年)の会長に梅垣宏行氏が推薦され、承認可決した。

諸報告

1) 理事長より各委員会の活動状況、地方会の開催状況、および各賞受賞者について報告が行われた。

- 2) 第 68 回学術集会 (2026 年) の準備状況について新村健会長から, 第 69 回学術集会 (2027 年) の準備状況について大石充会長からそれぞれ報告が行われた.

2024年度事業報告

I. 庶務の概要

1. 会員の異動状況 (2025年3月31日現在)

1. 会員の異動

	前年度末	入会	退会	物故者	現在数
会員数	6,435	248	442	18	6,223
(正会員・名誉会員・特別会員・学生会員)					

	前年度末	新任	退任	物故者	現在数
名誉会員	41	0	-	2	39
特別会員	115	0	3	3	109
賛助会員	21	0	3	-	18
図書会員	113	7	-		130

2. 役員等の異動

	前年度末	新任	退任	物故者	現在数
理事	20	-	-	-	20
監事	2	1	-	-	3
幹事	0	1	-	-	1
代議員	613	-	-	-	613
事務職員	6	2	2	-	6

3. 物故会員(敬称略)

名誉会員	小澤 利男	橋場 邦武		
特別会員	北村 伸	柴田 博	栃木 捷一郎	
正会員	荒井 徹	稲見 研二	岩崎 章	坂井 誠
	佐久間 貞行	四宮 孝昭	石 明三	高杉 佑一
	土屋 博	西井 勤	西村 直卓	萩原 魏
	林 登志雄	平井 基陽	藤井 裕樹	法橋 建
	村勢 敏郎	盛 英機		

2. 会議の事項

1. 定時社員総会:

2024年6月13日 於 愛知県 ウィンクあいち

2. 理事会:

2024年4月25日 於 東京都・日本老年医学会事務所より持回り

2024年6月12日 於 愛知県 ウィンクあいち

2024年7月25日 於 東京都・日本老年医学会事務所より持回り

2024年11月5日 於 東京都・日本老年医学会事務所より持回り

2024年11月15日 於 東京都・日本老年医学会事務所より持回り

2024年12月16日 於 東京都・日本老年医学会事務所より持回り

2024年12月17日 於 東京都・日本老年医学会事務所より持回り

2024年12月20日 於 東京都・日本老年医学会事務所より持回り

2024年12月26日 於 東京都・日本老年医学会事務所より持回り

2025年1月14日 於 東京都・日本老年医学会事務所より持回り

2025年1月25日 於 東京都・AP 東京八重洲と Zoom のハイブリッド

2025年2月14日 於 東京都・日本老年医学会事務所より持回り

2025年3月12日 於 東京都・日本老年医学会事務所より持回り

2025年3月25日 於 東京都・日本老年医学会事務所より持回り

2025年3月26日 於 東京都・日本老年医学会事務所より持回り

3. あり方委員会:

2024年6月12日 於 愛知県 ウィンクあいち

2025年1月25日 於 東京都・AP 東京八重洲と Zoom のハイブリッド

1)あり方ワーキング:

2024年7月29日 於 東京都・学会事務所と Zoom のハイブリッド

2024年9月2日 於 東京都・学会事務所と Zoom のハイブリッド

2024年10月30日 於 東京都・学会事務所と Zoom のハイブリッド

2025年3月21日 於 東京都・学会事務所より持回り

4. 財務委員会:

2024年6月7日 於 Zoom

2025年1月24日 於 Zoom

2025年3月10日 於 Zoom

5. 総務委員会:

2024年6月27日 於 東京都・学会事務所より持回り

2024年12月6日 於 Zoom

6. 雑誌編集委員会:

2024年9月3日 於 Zoom

2025年1月21日 於 Zoom6. GGI 編集委員会:

2023年6月6日 於 Zoom

2024年1月23日 於 Zoom

7. GGI 編集委員会:

2024年6月6日 於 Zoom

2025年1月23日 於 Zoom

8. 専門医制度委員会:

2024年7月26日 於 東京都・学会事務所より持回り

2024年9月10日 於 東京都・学会事務所より持回り

2024年10月8日 於 東京都・学会事務所より持回り

2024年12月19日 於 東京都・学会事務所より持回り

1) 専門医制度委員会(専門医試験作成・認定小委員会 合同):

2024年12月16日 於 東京都・学会事務所より持回り

9. 高齢者医療研修委員会:

1) 研修認定審査小委員会:

2024年12月16日 於 東京都・学会事務所より持回り

2025年1月14日 於 東京都・学会事務所より持回り

10. 学術プログラム委員会:

2024年11月6日 於 Zoom

2025年1月8日 於 Zoom

11. 高齢者医療委員会:

1) 認知症対策小委員会:

2024年4月23日 於 東京都・学会事務所より持回り

2) 在宅医療小委員会:

「在宅医療がイト(仮称)」2学会合同ワーキンググループ会議として

2024年6月27日 於 東京都・学会事務所より持回り

2024年10月22日 於 Zoom

2025年3月11日 於 Zoom

3) 高齢者災害医療小委員会:

2024年7月23日 於 Zoom

2024年12月2日 於 東京都・学会事務所より持回り

4) 科学的介護検討小委員会:

2024年12月10日 於 Zoom

5) 高齢者がん診療小委員会:

2024年11月8日 於 Zoom

2025年2月10日 於 東京都・学会事務所より持回り

12. 学術委員会:

2025年2月6日 於 Zoom

1) フレイル・サルコペニア対策小委員会:

2025年1月22日 於 Zoom

2) 高齢者糖尿病の治療の質向上のための合同委員会:

2024 年 4 月 17 日 於 Zoom

2025 年 1 月 31 日 於 Zoom

2025 年 1 月 31 日 於 Zoom

3) 高齢者薬物療法対策小委員会:

2024 年 9 月 10 日 於 Zoom

2024 年 10 月 27 日 於 東京都・学会事務所より持回り

2025 年 3 月 7 日 於 東京都・学会事務所より持回り

4) 基礎研究部会:

2025 年 1 月 29 日 於 Zoom

5) CGA・5Ms 最適化・普及 WG:

2024 年 11 月 11 日 於 Zoom

13. 教育委員会:

2024 年 6 月 3 日 於 Zoom

2024 年 10 月 7 日 於 Zoom 専門医制度委員会との合同会議

2024 年 12 月 9 日 於 Zoom 「テキスト」編集委員会議

2025 年 1 月 20 日 於 Zoom

2025 年 2 月 25 日 於 Zoom 「テキスト」編集委員会議

2025 年 3 月 5 日 於 東京都・学会事務所より持回り

2025 年 3 月 17 日 於 Zoom 「テキスト」編集委員会議

14. 用語委員会:

2024 年 5 月 20 日 於 東京都・学会事務所より持回り

2024 年 6 月 11 日 於 東京都・学会事務所より持回り

2024 年 10 月 18 日 於 東京都・学会事務所より持回り

2024 年 11 月 20 日 於 東京都・学会事務所より持回り

15. 顕彰委員会

2024 年 12 月 3 日 於 東京都・学会事務所より持回り

16. 優秀論文賞選考委員会:

2025 年 3 月 10 日 於 東京都・学会事務所より持回り

2025 年 3 月 31 日 於 東京都・学会事務所より持回り

17. 老化および老年医学研究助成選考委員会:

2024 年 12 月 26 日 於 東京都・学会事務所より持回り

18. 高齢者栄養研究助成選考委員会:

2024 年 12 月 27 日 於 東京都・日本老年医学会事務所より持回り

19. YIA 選考委員会:

2024 年 12 月 20 日 於 Zoom

20. 国際交流委員会:

2025 年 1 月 22 日 於 Zoom

21. 国内交流委員会:

2024 年 4 月 9 日 於 東京都・学会事務所より持回り

2024 年 4 月 17 日 於 東京都・学会事務所より持回り

2024 年 5 月 9 日 於 東京都・学会事務所より持回り

2024 年 5 月 15 日 於 東京都・学会事務所より持回り

2024 年 6 月 3 日 於 東京都・学会事務所より持回り

2024 年 6 月 19 日 於 東京都・学会事務所より持回り

2024 年 7 月 2 日 於 東京都・学会事務所より持回り

2024 年 7 月 8 日 於 東京都・学会事務所より持回り

2024 年 7 月 10 日 於 東京都・学会事務所より持回り

2024 年 7 月 22 日 於 東京都・学会事務所より持回り

2024 年 9 月 19 日 於 東京都・学会事務所より持回り

2024 年 10 月 1 日 於 東京都・学会事務所より持回り

2024 年 10 月 17 日 於 東京都・学会事務所より持回り

2024 年 10 月 23 日 於 東京都・学会事務所より持回り

2024 年 11 月 8 日 於 東京都・学会事務所より持回り

2024 年 11 月 21 日 於 東京都・学会事務所より持回り

2024 年 11 月 25 日 於 東京都・学会事務所より持回り

2024 年 11 月 28 日 於 東京都・学会事務所より持回り

2024 年 12 月 5 日 於 東京都・学会事務所より持回り

2025 年 12 月 11 日 於 東京都・学会事務所より持回り

2025 年 1 月 14 日 於 東京都・学会事務所より持回り

2025 年 2 月 13 日 於 東京都・学会事務所より持回り

2025 年 3 月 18 日 於 東京都・学会事務所より持回り

22. ダイバーシティ推進委員会:

2024年5月16日 於 Zoom

2024年11月15日 於 Zoom

2025年1月22日 於 Zoom

II. 事業の状況

1. 学術集会等の開催（定款第 6 条 1 項）

1. 日本老年医学会年次学術集会

第 66 回日本老年医学会学術集会

会期:2024 年 6 月 13 日(木)～15 日(土)、～6 月 21 日(金)（オンデマンド配信）

会長:荒井 秀典(国立長寿医療研究センター 理事長)

会場:ウインクあいち(愛知県産業労働センター)および Web 開催

参加者数:2,526 名

学会テーマ:「4 つの愛(I)で拓く老年医学の展望」

指定演題他:会長講演 1 題、理事長講演 1 題、特別講演 2 題、海外招請講演 3 題、尼子賞受賞者講演 1 題、教育講演 23 題、シンポジウム 43 題、Geriatric literature review 5 題、第 7 回老化および老年医学研究助成受賞者講演 3 題、第 6 回 YIA 受賞者講演 4 題、ケースディスカッション 1 題、実践セミナー 1 題、委員会特別企画 2 題、市民公開講座 1 題

一般演題数:301 題

2. 日本老年医学会地方学術集会

第 35 回北海道地方会

会期:2024.10.12 会場:札幌医科大学臨床教育研究棟

会長:佐久間 一郎(北光記念クリニック)

発表演題:10 題 参加者 49 名

教育講演:「高齢者医療への新たな視点」浅香正博(北海道大学)

第 35 回東北地方会(ハイブリッド開催)

会期:2024.11.9 会場:秋田大学本道 40 周年記念会館

会長:中山 勝敏(秋田大学大学院医学系研究科)

発表演題:24 題 参加者 98 名

特別講演 1:「超高齢社会における COPD 治療の新展開」石井正紀(東京大学医学部附属病院)

特別講演 2:「高齢者糖尿病診療アップデート 2024」鈴木亮(東京医科大学)

第 76 回関東甲信越地方会

会期:2024.9.28 会場:東京大学本郷キャンパス内

会長:山中 崇(東京大学大学院医学系研究科 在宅医療学講座)

発表演題:20 題 参加者:135 名

教育講演:「高齢者救急について 我々高齢者の専門家は何をすべきなのか?」長谷川浩(杏林大学医学部)

特別講演:「高齢者のフレイル・サルコペニアとその対策」小川純人(東京大学大学院医学系研究科)

ランチョンセミナー:「アミロイド抗体療法とタウ蛋白研究」本井ゆみ子(順天堂大学医学部付属順天堂医院)

漢方スポンサードセミナー:「補腎剤の抗フレイル効果—from bench to

bedside」萩原圭祐(大阪大学大学院医学系研究科)

第 35 回東海地方会(ハイブリッド開催)

会期:2024.10.19 会場:名古屋大学医学部附属病院 基礎研究棟

会長:梅垣 宏行(名古屋大学大学院医学系研究科 地域在宅医療学・老年科学)

発表演題:16 題 参加者:184 名

テーマ:「疾患修飾薬時代に老年医学は認知症とどう向き合うべきか」

特別講演:「アルツハイマー病の疾患修飾薬時代における老年科医の役割」武地一(藤田医科大学医学部)

教育講演:「アルツハイマー病疾患修飾薬登場による認知症診療の変化～認知症疾患医療センターの立場からの考察～」宮尾眞一(名鉄病院)

シンポジウム:「地域における認知症診療の多職種連携」

渡邊一久(名古屋大学医学部附属病院)

中尾なつこ(名古屋市中南区南部いきいき支援センター)

野呂瞳(名古屋大学医学部附属病院)

徳田美和子(AOI 名古屋病院)

第 35 回北陸地方会

会期:2025.2.15 会場:金沢医科大学医学教育棟

会長:大黒 正志(金沢医科大学 高齢医学)

発表演題:5 題 参加者:19 名

特別講演 1:「令和 6 年能登半島地震の経験」中橋毅(金沢医科大学)

特別講演 2:「超高齢社会を迎えた日本の認知症対策」濱野忠則(福井大学)

第 35 回近畿地方会

会期:2024.11.16 会場:京都府立医科大学 図書館ホール

会長:的場 聖明(京都府立医科大学 循環器腎臓内科)

発表演題:28 題 参加者:112 名

特別講演:「健康長寿に向けたフレイル対策を考える～京丹後長寿研究も含めて～」内藤裕二(京都府立医科大学大学院医学研究科)

教育講演:「老化と対話する医療から新しい健康概念へ ～寿命の進化論的考察、アンチエイジングからセノリスまで」近藤 祥司(京都大学医学部附属病院)

教育企画・シンポジウム:テーマ「チームで創る最善の高齢者医療」全完(京都府立医科大学)

山端志保(京都府立医科大学附属病院)

西真宏(京都府健康福祉部)

ランチョンセミナー 1:「高齢心房細動患者の抗凝固療法ガイドライン 2024 フォカスアップデート～私たちはいまだどこにいて、これからどこに向かうのか?～」鈴木信也(心臓血管研究所)

ランチョンセミナー 2:「高齢糖尿病患者の包括的管理～SGLT2 阻害薬の活かし方～」榊田出(三菱京都病院)

第 36 回中国地方会

会期:2024.11.16 会場:岡山国際交流センター

会長:杉本 研(川崎医科大学 総合老年医学)

発表演題:19 題 参加者:61 名

ランチョンセミナー:「高齢者フレイルに対する人參養榮湯の可能性」浅岡大介(順天堂大学医学部附属順天堂東京江東高齢者医療センター)

スポンサードセミナー 1:「認知機能が低下し始めた人への対応・指導方法～レカネマブ投与の意義～」片山禎夫(片山内科クリニック)

スポンサードセミナー 2:「エビデンスと老年医学に基づく高齢者生活習慣

病治療」山本浩一(大阪大学大学院医学系研究科)

第 36 回四国地方会

会期:2025.2.23 会場:サンポート高松ホール棟 5F

会長:辻 晃仁(香川大学医学部 臨床腫瘍学講座)

発表演題:10 題 参加者:50 名

教育講演:「私の在宅医療 20 年」三宅敬二郎(在宅診療敬二郎クリニック)

ランチョンセミナー「神経障害性疼痛の薬物療法～Multimorbidity の処方箋～」竹屋泰(大阪大学大学院医学系研究科保健学)

第 35 回九州地方会

会期:2025.3.1 会場:久留米大学病院 筑水会館

会長:甲斐 久史(久留米大学医療センター 循環器内科)

発表演題:22 題 参加者:103 名

特別講演:「令和 6 年能登半島地震を経験して」大黒正志(金沢医科大学)

シンポジウム:「高齢者を災害から守る地域医療」

福本義弘(久留米大学医学部内科学講座)

辻田賢一(熊本大学大学院生命科学研究部)

鬼塚一郎(田主丸中央病院)

横倉義典(ヨコクラ病院)

3. その他、セミナー研修会等

1) 第 18 回老年医学サマーセミナー(医学部学生 4 年生以上、初期研修医が参加対象)

会期: 2024 年 8 月 2 日(土)～3 日(日) 参加者:31 名

開催地: L stay & grow 南砂町(東京都江東区)

主催: 日本老年医学会、国立長寿医療研究センター

2) 高齢者医療研修会(2 回開催)

会期: 2024 年 6 月 15 日(土)～16 日(日)

座学修了者: 49 名、ワークショップ修了者: 44 名

開催地: ウィンクあいち(愛知県名古屋市中村区)

主催: 日本老年医学会

会期: 2025 年 3 月 15 日(土)～16 日(日)

座学修了者: 59 名、ワークショップ修了者: 58 名

開催地: 名古屋大学(愛知県名古屋市中昭和区)

主催: 日本老年医学会東海支部

3) 老人保健施設管理医師総合診療研修会 修了者:362 名

主催: 日本老年医学会、公益社団法人全国老人保健施設協会

【座学】会期: 2024 年 8 月 1 日(木)～9 月 30 日(月)

開催: Web によるオンライン開催(上記期間にオンデマンド視聴)

【グループワーク】

会期: 2024 年 10 月 5 日(土)、6 日(日)

開催: Web によるオンライン開催

(上記のいずれか 1 日に Zoom 参加)

4) 第 13 回高齢者栄養療法研修会 修了者:19 名

会期: 2024 年 12 月 7 日(土)～8 日(日)

開催: Web によるオンライン開催

主催: 日本老年医学会

3. 学会誌その他の出版物の刊行 (定款第 6 条 1 項 2 号)

1) 学会誌「日本老年医学会雑誌」

1. 定期号 第 61 巻 2 号～4 号及び第 62 巻 1 号 合計 4 冊を発行した。

2. Supplement 第 66 回学術集会講演抄録集として 2024 年 5 月

に発行した。

- 2) 英文誌「Geriatrics and Gerontology International」(GGI)
(正式略称 Geriatr Gerontol Int)
 1. オンラインで Vol.24 Issue4～Issue12, Vol.25 Issue1～3 を発行した。
 2. Supplement 2025 年 3 月に発行した。Comprehensive geriatric assessment (CGA)-based healthcare guidelines 2024.
4. 学会認定 老年科専門医、指導医、認定医の認定（定款第 6 条 1 項 3 号）
 - 1) 老年科専門医認定試験を、2023 年度に引き続き CBT 方式により 2024 年 11 月 17 日に実施した(会場は全国の CBT テストセンター約 100 カ所)。専門医試験作成・認定小委員会において可否を審議し、専門医制度委員会、理事会の議を経て 74 名を認定した。
 - 2) 2025 年 3 月 31 日の時点で認定を受けた日から満 5 年を経る老年科専門医より提出された更新申請書を審査し、老年科専門医 297 名の更新を認定した。
 - 3) 高齢者栄養療法認定医は新規で 11 名を認定し、2019 年に認定された 17 名の更新を認定した。
 - 4) 老人保健施設管理認定医は新規で 24 名を認定し、2019 年に認定された 121 名の更新を認定した。
5. 研究の奨励、研究業績の表彰
 - 1) 尼子賞
第66回学術集会にて、尼子賞受賞者として秋山弘子先生を顕彰した。
 - 2) 第6回日本老年医学会YIA
以下の受賞者4名を決定し、第66回学術集会にて表彰した。基礎:細井達矢、社会学・疫学:谷口優、臨床:沢谷洋平、楠 博
 - 3) 第31回日本老年医学会優秀論文賞
日本老年医学会雑誌第60巻1号から4号(2023年1月～2023年10月発行)に掲載された論文の中から選考し、水上勝義、井田諭、美崎定也の3名を日本老年医学会優秀論文賞受賞者として第66回学術集会にて表彰した。
 - 4) 第15回 Geriatrics & Gerontology International 優秀論文賞
GGI誌 Volume 23に掲載された論文の中から選考し、Taichi Demura, Yoshinori Fujiwara, Shoya Matsumotoの3名をGeriatrics & Gerontology International優秀論文賞受賞者として第66回学術集会にて表彰した。
 - 5) 日本老年医学会老化および老年医学研究助成
第9回受賞者を第66回学術集会にて表彰した。第10回の募集を行い、老化および老年医学研究助成選考委員会にて3名が選考され、2025年1月25日の理事会により承認された。
 - 6) 日本老年医学会高齢者栄養研究助成
第2回受賞者を第66回学術集会にて表彰した。第3回の募集を行い、高齢者栄養研究助成選考委員会にて5名が選考され、2025年1月25日の理事会により承認された。
6. 内外の関連学術団体との連絡及び協力（定款第6条1項5号）
 - 1) 加盟学術団体である日本老年学会の運営を日本老年社会科学会、日本基礎老化学会、日本老年歯科医学会、日本老年精神医学会、日本ケアマネジメント学会、日本老年看護学会、日本老年薬学会と共に協議協力した。

- 2) 日本老年学会として加盟している国際老年学協会 International Association of Gerontology and Geriatrics (IAGG) の活動に参加協力した。

7. 老年医学に関する普及啓発事業（定款第6条1項6号）

- 1) シンポジウム
 1. 東京大学との共催「高齢者救急とエンドオブライフ・ケア人として尊重する意思決定支援」
8. その他、目的を達成するために必要な事業（定款第6条1項8号）
各種委員会(あり方委員会、あり方WG、財務委員会、総務委員会、雑誌編集委員会、GGI編集委員会、専門医制度委員会、老年科専門医検討小委員会、専門医試験作成・認定小委員会、高齢者医療研修委員会、研修認定審査小委員会、学術プログラム委員会、高齢者医療委員会、保険診療小委員会、認知症対策小委員会、在宅医療小委員会、高齢者災害医療小委員会、感染症対策・ワクチン療法小委員会、骨折転倒対策小委員会、科学的介護検討小委員会、高齢者がん診療小委員会学術委員会、フレイル・サルコペニア対策小委員会、高齢者糖尿病の治療質向上のための合同委員会、高齢者薬物療法対策小委員会、基礎研究部会、CGA・5Ms最適化・普及WG、教育委員会、用語委員会、顕彰委員会、優秀論文賞選考委員会、老化および老年医学研究助成選考委員会、高齢者栄養研究助成選考委員会、YIA選考委員会、倫理委員会、エンドオブライフに関する小委員会、利益相反委員会、GL統括委員会、国際交流委員会、国内交流委員会、ダイバーシティ推進委員会、広報委員会、選挙管理委員会)を開催し、本会の目的を達成するため種々の検討が行われ活動が行われた。

自 2024 年 4 月 1 日

自 2024 年 4 月 1 日

科目	目	一般会計	専門民 部会計	学研費 部会計	支那 部会計	地方 部会計	内閣府小計	(単位)円
1. 事業活動収支の部								
1. 事業活動収入		5,000						5,000
2. 基本財産運用収入		7,085,000						7,085,000
3. 雑収入		69,385,000						69,385,000
4. 雑収入		1,700,000						1,700,000
5. 雑収入		66,564,112	10,922,000	103,764,500	980,000	17,688,713	△ 422,400	179,478,925
6. 雑収入		27,187,713						27,187,713
7. 雑収入		1,738,000						1,738,000
8. 雑収入		2,442,000						2,442,000
9. 雑収入		6,762,000						6,762,000
10. 雑収入		30,859,000				4,834,500		35,693,500
11. 雑収入		2,832,500						2,832,500
12. 雑収入		3,638,000						3,638,000
13. 雑収入		59,950,000				6,290,000		66,240,000
14. 雑収入		4,310,500						4,310,500
15. 雑収入		840,000			10,000	2,453,713		3,293,713
16. 雑収入		15,657,400					△ 422,400	15,235,000
17. 雑収入		3,701,000						3,701,000
18. 雑収入		423,000						423,000
19. 雑収入		264,955	65,181	17,805	11,330	25,351	0	364,622
20. 雑収入		197,804	42,081	17,805	11,330	6,231	0	275,231
21. 雑収入		67,151	3,100	0	0	19,600	0	89,851
22. 雑収入		15,805,372	0	3,500,000	3,779,161	2,968,457	△ 27,052,900	25,140,030
23. 雑収入		3,500,000						3,500,000
24. 雑収入		2,780,800						2,780,800
25. 雑収入		2,968,457						2,968,457
26. 雑収入		1,679,161						1,679,161
27. 雑収入		15,907,071						15,907,071
28. 雑収入		13,707,439	10,867,181	107,382,305	4,770,487	20,683,061	△ 27,475,300	250,893,073
29. 雑収入		5,649,504						5,649,504
30. 雑収入		91,374,328						91,374,328
31. 雑収入		2,608,184						2,608,184
32. 雑収入		18,706,447					△ 422,400	18,284,047
33. 雑収入		63,622,598						63,622,598
34. 雑収入		25,990,985						25,990,985
35. 雑収入		5,732,390						5,732,390
36. 雑収入		2,373,254						2,373,254
37. 雑収入		1,733,927						1,733,927
38. 雑収入		709,090						709,090
39. 雑収入		401,464						401,464
40. 雑収入		1,043,996						1,043,996
41. 雑収入		387,430						387,430
42. 雑収入		8,605,135						8,605,135
43. 雑収入		8,249,019						8,249,019
44. 雑収入		1,024,855						1,024,855
45. 雑収入		2,214,400						2,214,400
46. 雑収入		281,360						281,360
47. 雑収入		229,552						229,552
48. 雑収入		6,200,000	0	15,907,370	2,968,457	1,976,564	△ 27,052,900	23,042,931
49. 雑収入		15,907,370						15,907,370
50. 雑収入		3,500,000						3,500,000
51. 雑収入		1,850,000						1,850,000
52. 雑収入		2,968,457						2,968,457
53. 雑収入		900,000						900,000
54. 雑収入		124,398,359	5,569,504	107,382,305	5,576,641	20,683,061	△ 27,475,300	236,034,425
55. 雑収入		10,309,080	5,397,437	0	△ 806,144	0		14,900,373
2. 事業活動支出								
1. 教育活動収入		54,675,851	5,569,504	91,374,328	2,608,184	18,706,447	△ 422,400	172,611,915
2. 教育活動支出		25,103,464						25,103,464
3. 教育活動支出		10,400,700						10,400,700
4. 教育活動支出		1,218,000						1,218,000
5. その他事業支出		19,315,794						19,315,794
6. 教育活動支出		5,569,504						5,569,504
7. 教育活動支出		91,374,328						91,374,328
8. 教育活動支出		2,608,184						2,608,184
9. 教育活動支出		18,706,447					△ 422,400	18,284,047
10. 教育活動支出		25,990,985						25,990,985
11. 教育活動支出		5,732,390						5,732,390
12. 教育活動支出		2,373,254						2,373,254
13. 教育活動支出		1,733,927						1,733,927
14. 教育活動支出		709,090						709,090
15. 教育活動支出		401,464						401,464
16. 教育活動支出		1,043,996						1,043,996
17. 教育活動支出		387,430						387,430
18. 教育活動支出		8,605,135						8,605,135
19. 教育活動支出		8,249,019						8,249,019
20. 教育活動支出		1,024,855						1,024,855
21. 教育活動支出		2,214,400						2,214,400
22. 教育活動支出		281,360						281,360
23. 教育活動支出		229,552						229,552
24. 教育活動支出		6,200,000	0	15,907,370	2,968,457	1,976,564	△ 27,052,900	23,042,931
25. 教育活動支出		15,907,370						15,907,370
26. 教育活動支出		3,500,000						3,500,000
27. 教育活動支出		1,850,000						1,850,000
28. 教育活動支出		2,968,457						2,968,457
29. 教育活動支出		900,000						900,000
30. 教育活動支出		124,398,359	5,569,504	107,382,305	5,576,641	20,683,061	△ 27,475,300	236,034,425
31. 教育活動支出		10,309,080	5,397,437	0	△ 806,144	0		14,900,373
3. 教育活動収支の部								
1. 教育活動収入		54,675,851	5,569,504	91,374,328	2,608,184	18,706,447	△ 422,400	172,611,915
2. 教育活動支出		25,103,464						25,103,464
3. 教育活動支出		10,400,700						10,400,700
4. 教育活動支出		1,218,000						1,218,000
5. その他事業支出		19,315,794						19,315,794
6. 教育活動支出		5,569,504						5,569,504
7. 教育活動支出		91,374,328						91,374,328
8. 教育活動支出		2,608,184						2,608,184
9. 教育活動支出		18,706,447					△ 422,400	18,284,047
10. 教育活動支出		25,990,985						25,990,985
11. 教育活動支出		5,732,390						5,732,390
12. 教育活動支出		2,373,254						2,373,254
13. 教育活動支出		1,733,927						1,733,927
14. 教育活動支出		709,090						709,090
15. 教育活動支出		401,464						401,464
16. 教育活動支出		1,043,996						1,043,996
17. 教育活動支出		387,430						387,430
18. 教育活動支出		8,605,135						8,605,135
19. 教育活動支出		8,249,019						8,249,019
20. 教育活動支出		1,024,855						1,024,855
21. 教育活動支出		2,214,400						2,214,400
22. 教育活動支出		281,360						281,360
23. 教育活動支出		229,552						229,552
24. 教育活動支出		6,200,000	0	15,907,370	2,968,457	1,976,564	△ 27,052,900	23,042,931
25. 教育活動支出		15,907,370						15,907,370
26. 教育活動支出		3,500,000						3,500,000
27. 教育活動支出		1,850,000						1,850,000
28. 教育活動支出		2,968,457						2,968,457
29. 教育活動支出		900,000						900,000
30. 教育活動支出		124,398,359	5,569,504	107,382,305	5,576,641	20,683,061	△ 27,475,300	236,034,425
31. 教育活動支出		10,309,080	5,397,437	0	△ 806,144	0		14,900,373
4. 教育活動収支の部								
1. 教育活動収入		54,675,851	5,569,504	91,374,328	2,608,184	18,706,447	△ 422,400	172,611,915
2. 教育活動支出		25,103,464						25,103,464
3. 教育活動支出		10,400,700						10,400,700
4. 教育活動支出		1,218,000						1,218,000
5. その他事業支出		19,315,794						19,315,794
6. 教育活動支出		5,569,504						5,569,504
7. 教育活動支出		91,374,328						91,374,328
8. 教育活動支出		2,608,184						2,608,184
9. 教育活動支出		18,706,447					△ 422,400	18,284,047
10. 教育活動支出		25,990,985						25,990,985
11. 教育活動支出		5,732,390						5,732,390
12. 教育活動支出		2,373,254						2,373,254
13. 教育活動支出		1,733,927						1,733,927
14. 教育活動支出		709,090						709,090
15. 教育活動支出		401,464						401,464
16. 教育活動支出		1,043,996						1,043,996
17. 教育活動支出		387,430						387,430
18. 教育活動支出		8,605,135						8,605,135
19. 教育活動支出		8,249,019						8,249,019
20. 教育活動支出		1,024,855						1,024,855
21. 教育活動支出		2,214,400						2,214,400
22. 教育活動支出		281,360						281,360
23. 教育活動支出		229,552						229,552
24. 教育活動支出		6,200,000	0	15,907,370	2,968,457	1,976,564	△ 27,052,900	23,042,931
25. 教育活動支出		15,907,370						15,907,370
26. 教育活動支出		3,500,000						3,500,000
27. 教育活動支出		1,850,000						1,850,000
28. 教育活動支出		2,968,457						2,968,457
29. 教育活動支出		900,000						900,000
30. 教育活動支出		124,398,359	5,569,504	107,382,305	5,576,641	20,683,061	△ 27,475,300	236,034,425
31. 教育活動支出		10,309,080	5,397,437	0	△ 806,144	0		14,900,373
5. 教育活動収支の部								
1. 教育活動収入		54,675,851	5,569,504	91,374,328	2,608,184	18,706,447	△ 422,400	172,611,915
2. 教育活動支出		25,103,464						25,103,464
3. 教育活動支出		10,400,700						10,400,700
4. 教育活動支出		1,218,000						1,218,000
5. その他事業支出		19,315,794						19,315,794
6. 教育活動支出		5,569,504						5,569,504
7. 教育活動支出		91,374,328						91,374,328
8. 教育活動支出		2,608,184						2,608,184
9. 教育活動支出		18,706,447					△ 422,400	18,284,047
10. 教育活動支出		25,990,985						25,990,985
11. 教育活動支出		5,732,390						5,732,390
12. 教育活動支出		2,373,254						2,373,254
13. 教育活動支出		1,733,927						1,733,927
14. 教育活動支出		709,090						709,090
15. 教育活動支出		401,464						401,464
16. 教育活動支出		1,043,996						1,043,996
17. 教育活動支出		387,430						387,430
18. 教育活動支出		8,605,135						

自 2024 年 4 月 1 日

自 2024 年 4 月 1 日

科 目	2025 年 3 月 31日	前年度	増減額	増 減	備 考
1. 事業活動収支の部					
2. 事業活動収入					
3. 基本財産運用収入	(2,000)	(5,000)	(△ 3,000)		
4. 雑 費 収 入	2,000	5,000	△ 3,000	特別アプ	
5. 社会公益金費収入	(71,000,000)	(71,000,000)	0	社会公益金	
6. 奨励金費収入	17,500,000	69,300,000	5,814,000		
7. 奨励金委員会費収入	2,000,000	1,700,000	300,000		
8. 奨励金行収入	(21,300,000)	(27,487,712)	(△ 6,837,712)		
9. 品寄附金雑料収入	200,000	487,400	△ 287,400		
10. 前年度代金雑料収入	1,000,000	1,082,940	△ 82,940		
11. 知識財産運用収入	100,000	301,200	△ 201,200		
12. 書籍譲渡金収入	20,000,000	24,628,872	△ 4,628,872		
13. 研 究 会 収 入	(3,400,000)	(15,487,400)	(△ 12,287,400)	研究費等活動収支の部	
14. 研究費等収入	3,400,000	15,487,400	△ 12,287,400		
15. 研究費等収入	(2,000,000)	(3,751,000)	(△ 1,751,000)		
16. 研究費等収入	500,000	300,000	115,000		
17. 研究費等収入	500,000	385,000	115,000		
18. 研究費等収入	1,000,000	2,031,000	△ 1,031,000	研究費等活動収支の部	
19. 研 究 収 入	(2,000,000)	(384,000)	(△ 1,616,000)		
20. 研究費等収入	8,000	197,804	△ 189,804	特別アプ	
21. 研 究 収 入	2,000,000	47,151	(△ 1,952,849)		
22. 研究費等収入	0	18,668,372	(△ 18,668,372)		
23. 研究費等収入	0	15,907,979	(△ 15,907,979)	研究	
24. 研究費等収入	0	897,303	△ 897,303		
25. 事業活動収支の部(A)	105,760,000	134,707,439	△ 28,947,439		
26. 事業活動支出					
27. 研究費等活動収支の部	(83,950,000)	(54,675,851)	(△ 1,255,851)		
28. 研究費等活動収支の部	(21,300,000)	(23,305,484)	(△ 1,005,484)		
29. 研究費等活動収支の部	13,500,000	14,369,111	△ 869,111		
30. 研究費等活動収支の部	1,000,000	1,497,404	△ 497,404		
31. 研究費等活動収支の部	1,000,000	400,754	599,200		
32. 研究費等活動収支の部	4,000,000	6,276,000	△ 2,276,000		
33. 研究費等活動収支の部	(3,000,000)	(10,529,793)	(△ 7,529,793)	研究費等活動収支の部	
34. 研究費等活動収支の部	3,000,000	10,529,793	△ 7,529,793	研究費等活動収支の部	
35. 研究費等活動収支の部	(1,100,000)	(1,216,800)	(△ 66,800)		
36. 研究費等活動収支の部	900,000	1,090,000	△ 190,000		
37. 研究費等活動収支の部	250,000	216,800	33,200		
38. 研究費等活動収支の部	(27,700,000)	(19,515,714)	(8,284,286)		
39. 研究費等活動収支の部	3,000,000	3,000,000	0		
40. 研究費等活動収支の部	16,000,000	10,919,395	5,080,605		
41. 研究費等活動収支の部	3,000,000	2,092,387	17,613		
42. 研究費等活動収支の部	1,000,000	0	1,000,000		
43. 研究費等活動収支の部	1,800,000	2,287,882	△ 487,882		
44. 研究費等活動収支の部	300,000	77,000	223,000		
45. 研究費等活動収支の部	500,000	0	500,000		
46. 研究費等活動収支の部	900,000	0	900,000		
47. 研究費等活動収支の部	500,000	0	500,000		
48. 研究費等活動収支の部	900,000	0	900,000		
49. 研究費等活動収支の部	800,000	0	800,000		
50. 研究費等活動収支の部	800,000	0	800,000		
51. 研究費等活動収支の部	(64,100,000)	(63,622,508)	(△ 477,492)		
52. 研究費等活動収支の部	30,000,000	25,090,985	4,009,015		
53. 研究費等活動収支の部	4,000,000	5,732,390	△ 1,432,390	社会活動活動アプ	
54. 研究費等活動収支の部	3,000,000	2,373,254	626,746		
55. 研究費等活動収支の部	1,800,000	1,196,887	△ 603,113	社会活動活動収支	
56. 研究費等活動収支の部	2,000,000	769,366	1,230,634		
57. 研究費等活動収支の部	2,500,000	401,484	2,098,516		
58. 研究費等活動収支の部	1,500,000	1,043,866	456,134		
59. 研究費等活動収支の部	800,000	387,813	112,145		
60. 研究費等活動収支の部	4,700,000	8,465,133	94,865		
61. 研究費等活動収支の部	6,100,000	8,240,019	△ 2,140,019	社会活動活動収支の部	
62. 研究費等活動収支の部	1,200,000	1,024,853	175,145		
63. 研究費等活動収支の部	2,000,000	2,214,400	△ 214,400		
64. 研究費等活動収支の部	900,000	281,390	236,640		
65. 研究費等活動収支の部	0	4,294,420	△ 4,294,420	2024年度事務費	
66. 研究費等活動収支の部	0	223,512	73,428		
67. 研究費等活動収支の部	(6,400,000)	(6,200,000)	(200,000)		
68. 研究費等活動収支の部	(6,400,000)	(6,200,000)	(200,000)		
69. 研究費等活動収支の部への繰入金等	3,500,000	3,500,000	0		
70. 研究費等活動収支の部への繰入金等	2,000,000	1,800,000	200,000		
71. 研究費等活動収支の部への繰入金等	800,000	800,000	0		
72. 事業活動収支の部(B)	123,850,000	126,908,359	△ 3,058,359		
73. 事業活動収支の部(A)-(B)	(18,090,000)	(16,399,080)	△ 28,999,080		

Ⅱ 貸 借 対 照 表
2025年3月31日現在

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流 動 資 産			
現 金	323,423	447,714	△ 124,291
預 金	391,020,822	385,204,744	5,816,078
未 収 金	15,964,427	19,142,658	△ 3,178,231
前 払 金	10,000,000	3,500,000	6,500,000
流動資産合計	417,308,672	408,295,116	9,013,556
2. 固 定 資 産			
(1) 基 本 財 産			
定期預金	20,000,000	20,000,000	0
基本財産合計	20,000,000	20,000,000	0
(2) 特 定 財 産			
① 退職積立資産	5,331,000	3,350,500	1,980,500
② 国際関係費積立資産	18,302,589	18,302,589	0
③ 書籍刊行積立資産	7,401,501	7,401,501	0
④ 研究助成積立資産	27,322,034	27,322,034	0
⑤ 設備積立資産	17,098,175	17,098,175	0
⑥ 整備積立資産	5,500,882	5,500,882	0
⑦ 事務所費用積立資産	5,451,926	5,451,926	0
⑧ 支部・地方会積立資産	29,287,070	31,236,536	△ 1,949,466
特定財産合計	115,695,177	115,664,143	31,034
(3) その他固定資産			
① 建物附属設備	3	3	0
② 什器備品	119,904	180,846	△ 60,942
③ ソフトウェア	871,201	36,855	834,346
④ 電話加入権	216,000	216,000	0
⑤ 保証金	6,357,000	6,357,000	0
その他固定資産合計	7,564,108	6,790,704	773,404
固定資産合計	143,259,285	142,454,847	804,438
資産合計	560,567,957	550,749,963	9,817,994
II 負債の部			
1. 流 動 負 債			
未 払 金	2,526,145	3,790,920	△ 1,264,775
前 受 金	968,000	664,000	304,000
預 り 金	284,564	528,858	△ 244,294
仮 受 金	10,094,600	13,777,554	△ 3,682,954
流動負債合計	13,873,309	18,761,332	△ 4,888,023
2. 固 定 負 債			
退職給付引当金	5,331,000	3,350,500	1,980,500
固定負債合計	5,331,000	3,350,500	1,980,500
負債合計	19,204,309	22,111,832	△ 2,907,523
III. 正味財産の部			
1. 指 定 正 味 財 産			
定期預金	20,000,000	20,000,000	0
指定正味財産合計	20,000,000	20,000,000	0
(うち基本財産への充当額)	(20,000,000)	(20,000,000)	(0)
2. 一 般 正 味 財 産			
(うち特定財産への充当額)	(521,363,648)	(508,638,131)	(12,725,517)
正味財産合計	(110,364,177)	(112,313,643)	(△ 1,949,466)
(うち特定財産への充当額)	(541,363,648)	(528,638,131)	(12,725,517)
負債及び正味財産合計	560,567,957	550,749,963	9,817,994

IV 財 産 目 録

2025年3月31日現在

(単位:円)

科 目	金 額	金 額	金 額
I 資産の部			
1. 流 動 資 産			
1) 現 金	323,423		
2) 普 通 預 金			
みずほ銀行本郷支店	265,196,875		
〃	81,408,108		
〃	7,101,909		
三菱UFJ銀行春日町支店	119,005		
普通預金計替	353,825,897		
3) 郵 便 振 替	1,207,326		
〃	6,936,372		
郵便振替計金	8,143,698		
4) 定 期 預 金			
みずほ銀行本郷支店	9,051,227		
三菱UFJ銀行春日町支店	10,000,000		
本郷郵便局	10,000,000		
定期預金計金	29,051,227		
5) 未 収 金			
正 会 員 会 費	14,606,000		
広 告 掲 載 料 等	1,358,427		
未 収 金 計	15,964,427		
6) 前 払 金			
総会運営費67・68回	10,000,000		
前払金計	10,000,000		
2. 固 定 資 産		417,308,672	
1) 基 本 財 産			
定期預金			
みずほ銀行本郷支店	20,000,000		
基本財産計	20,000,000		
2) 特 定 資 産			
(1) 退 職 積 立 資 産			
みずほ銀行本郷支店	5,331,000		
(2) 国 際 関 係 費 積 立 資 産			
みずほ銀行本郷支店	18,302,589		
(3) 書 籍 刊 行 積 立 資 産			
みずほ銀行本郷支店	7,401,501		
(4) 研 究 助 成 積 立 資 産			
みずほ銀行本郷支店	27,322,034		
(5) 設 備 積 立 資 産			
みずほ銀行本郷支店	17,098,175		
(6) 整 備 積 立 資 産			
みずほ銀行本郷支店	5,500,882		
(7) 事 務 所 費 用 積 立 資 産			
みずほ銀行本郷支店	5,451,926		
(8) 支 部 ・ 地 方 会 積 立 資 産			
特定資産計	29,287,070		
特定資産計	115,695,177		
3) その他固定資産			
(1) 建 物 附 属 設 備			
ト'ア・フ'ライント'他2点	3		
(2) 什 器 備 品			
収納庫他5点	119,904		
(3) ソ フ ト ウ ェ ア			
預金口座オプション導入他1点	871,201		
(4) 電 話 加 入 権			
(03)3814-8104 他2本	216,000		
(5) 保 証 金			
吉 林 ヒ ル 7 0 2 号	6,357,000		
その他固定資産計	7,564,108		
固定資産合計		143,259,285	
資産合計		560,567,957	

一般社団法人日本老年医学会
代表理事 神崎 恒一 殿

一般社団法人日本老年医学会

監 事 会田 薫子

監 事 清水 聡一郎

監 事 山本 浩一



監 査 報 告 書

私たち監事は、2024 年 4 月 1 日から 2025 年 3 月 31 日までの当法人の事業年度の理事の職務の執行について監査を行いましたので、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第 99 条第 1 項の規定に基づき本監査報告書を作成し、以下のとおり報告いたします。

1 監査の方法及びその内容

私たち監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要会議に出席し、理事及び使用人等から財産の状況及び職務の執行について報告を受け、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査しました。

以上の方法によって、当該年度に係る事業報告及びその附属明細書を監査しました。

さらに会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該年度に係る計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及びその附属明細書並びに財産目録について監査しました。

2 監査の結果

(1) 事業報告等の監査結果

- ① 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、当法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- ② 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

(2) 計算書類及びその附属明細書並びに財産目録の監査結果

計算書類及びその附属明細書並びに財産目録は当法人の財産及び損益の状況をすべて重要な点において適正に表示しているものと認めます。

以 上

1 重要な会計方針

- (1) 固定資産の減価償却の方法
建物付属設備及び器具備品・・・定率法による減価償却を実施している。
- (2) 引当金の計上基準
退職給付引当金・・・期末退職給与の自己都合要支給額に相当する金額を計上している。
- (3) 消費税等の会計処理
消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

2 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	20,000,000	0	0	20,000,000
小 計	20,000,000	0	0	20,000,000
特定資産				
退職給付引当資産	3,350,500	1,980,500		5,331,000
国際関係費積立資産	18,302,589		0	18,302,589
書籍刊行積立資産	7,401,501		0	7,401,501
研究助成積立資産	27,322,034		0	27,322,034
施設積立資産	17,098,175		0	17,098,175
整備積立資産	5,500,882		0	5,500,882
事務所費用積立資産	5,451,926		0	5,451,926
支部・地方会積立資産	31,236,536		1,949,466	29,287,070
小 計	115,664,143	1,980,500	1,949,466	115,695,177
合 計	135,664,143	1,980,500	1,949,466	135,695,177

3 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
定期預金	20,000,000	(20,000,000)	(0)	—
小 計	20,000,000	(20,000,000)	(0)	—
特定資産				
退職給付引当資産	5,331,000	(0)		(5,331,000)
国際関係費積立資産	18,302,589	(0)	(18,302,589)	—
書籍刊行積立資産	7,401,501	(0)	(7,401,501)	—
研究助成積立資産	27,322,034	(0)	(27,322,034)	—
施設積立資産	17,098,175	(0)	(17,098,175)	—
整備積立資産	5,500,882	(0)	(5,500,882)	—
事務所費用積立資産	5,451,926	(0)	(5,451,926)	—
支部・地方会積立資産	29,287,070	(0)	(29,287,070)	—
小 計	115,695,177	(0)	(110,364,177)	(5,331,000)
合 計	135,695,177	(20,000,000)	(110,364,177)	(5,331,000)

4 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建物付属設備	2,561,713	2,561,710	3
器具備品	7,038,393	6,918,489	119,904
ソフトウェア	1,283,900	412,699	871,201
合 計	10,884,006	9,892,898	991,108

2025 年度事業計画

1. 学術集会等の開催（定款第 6 条 1 項）

1) 日本老年医学会年次学術集会

第 67 回日本老年医学会学術集会

会 期:2025 年 6 月 27 日(金)～29 日(日)(於:幕張メッセ、TKP 東京
ベイ幕張ホール)

会 長:神崎 恒一(杏林大学医学部高齢医学教室 教授)

学会テーマ:「With Ageing を科学する老年医学」

特別招請講演 1:「政治的観点からみた健康長寿社会の構築」

荒井広幸(筑波大学客員教授, 元・国会議員, 元・内閣官房参与)

特別招請講演 2:「2040 年に向けた医療提供体制の改革」

迫井正深(厚生労働省医務技監)

海外招請講演 1:

「Update of geriatric medicine in Korea」

Chang-Won Won (Kyung Hee University)

「Current Landscape of Dementia Research in Thailand」

Weerasak Muangpaisan (Mahidol University)

海外招請講演 2:「How to become geriatrician in France」

衣川清加(ソルボンヌ大学)

尼子賞受賞講演:「尼子賞受賞にあたって—研究の道を振り返る—」

鈴木隆雄(国立長寿医療研究センター)

理事長・会長講演:「with Ageing を科学する老年医学」

神崎恒一(杏林大学医学部付属病院高齢診療科)

教育講演

1:「高齢者の脳卒中診療 Up to Date」平野照之(杏林大学)

2:「特発性正常圧水頭症に対する LP シャント術の実際」鮫島直之(東
京共済病院)

3:「認知症基本法と今後の認知症施策の方向性」栗田主一(東京都
健康長寿医療センター)

4:「サルコペニア/フレイル予防・治療のための栄養療法」葛谷雅文(名鉄病
院)

5:「医療現場における著作権の問題」小宮仁(名古屋大学医学部附
属病院)

6:「高齢者における排便障害の特徴と治療」味村俊樹(自治医科大学)

7:「総合病院における老年内科医の役割」渡邊一久(名古屋大学医
学部附属病院)

8:「老年科医の視点から見た新しい高血圧治療がトライン」山本浩一
(大阪大学大学院)

9:「総合診療における高齢者診療」木村琢磨(東京科学大学)

10:「高齢者に対する SGLT2 阻害薬の有用性と安全性」原田和昌
(東京都健康長寿医療センター)

11:「百寿者研究の最新知見」新井康通(慶應義塾大学医学部百寿
総合研究センター)

12:「パーキンソン病(PD)とレビー小体型認知症(DLB)」金丸和富(東京
都健康長寿医療センター)

13:「入院関連合併症」中嶋宏貴(名古屋大学医学部附属病院)

14:「認知症ちえのわ net を活用した認知症の人の認知障害, 行動・
心理症状への対応」数井裕光(高知大学)

15:「加齢性難聴の啓発に基づく健康寿命延伸」内田育恵(愛知医科
大学)

16:「過活動膀胱への対応」竹屋泰(大阪大学大学院)

17:「老年科専門医試験傾向と対策」武地一(藤田医科大学)

18:「日本型 ACP の考え方と実践」会田薫子(東京大学大学院)

19:「血管から読み解く脳老化:脳小血管と認知予備力への新たな視
点」小野寺理(新潟大学脳研究所)

20:「早老症 Update」加藤尚也(千葉大学大学院)

21:「わが国の地域高齢住民における認知症者の動向:久山町研究
の知見を中心に」二宮利治(九州大学大学院)

22:「新しい高齢者の安全な薬物療法がトライン」小島太郎(国際医療
福祉大学)

ジョイントシンポジウム

1:(日本脆弱性骨折ネットワーク):大腿骨近位部骨折における二次性骨
折予防

座長:荒井秀典(国立長寿医療研究センター)、大黒正志(金沢医科
大学)

伊東範尚(市立伊丹病院)

石丸直人(社会医療法人愛仁会明石医療センター)

友田義崇(板橋中央総合病院)

門磨知恵子(板橋中央総合病院)

2:(日本疲労学会):疲労及び疲労感研究の最前線

座長:荒井啓行(東北大学)、水野敬(大阪公立大学)

渡辺恭良(一般社団法人日本疲労学会)

安野史彦(国立長寿医療研究センター)

狩谷明美(大阪歯科大学)

飯島裕也(一般社団法人上田薬剤師会)

3:(日本未病学会):能登半島地震の経験から(高齢者災害医療の問
題点とその解決策)

座長:吉田博(東京慈恵会医科大学附属柏病院)、大黒正志(金
沢医科大学)

坪倉正治(福島県立医科大学)

瀬島照弘(小木クリニック)

西田伸一(東京都医師会)

坪井謙(さいたま市民医療センター)

河村英徳(愛知県医師会)

4:(日本老年療法学会):総合機能評価を通じた多職種連携の効果
オーガナイザー:島田裕之(国立長寿医療研究センター)、山田実(筑波
大学人間系)

座長:山田実(筑波大学人間系)、梅垣宏行(名古屋大学大学院)

梅垣宏行(名古屋大学大学院)

糀屋絵理子(大阪大学大学院)

溝神文博(国立長寿医療研究センター)

小山真吾(筑波技術大学)

5:(日本プライマリ・ケア連合学会):Multimorbidity の四則演算～サイエ
ンスとアート～

座長:新村健(兵庫医科大学)、大木村琢磨(東京科学大学)

梅垣宏行(名古屋大学大学院)

大浦誠(南砺市民病院)

渡邊一久(名古屋大学医学部附属病院)

星利佳(ほし薬局本店)

6:(日本救急医学会):高齢者救急問題の現状と課題, その対応策と
しての提言 2024 の実現に向けて

座長:長谷川浩(杏林大学医学部)、矢口有乃(東京医科大学)
長永真明(兵庫県立尼崎総合医療センター)
真弓俊彦(日本救急医学会高齢者救急委員会/独立行政法人地域医療機能推進機構中京病院)
井上淑恵(医療法人社団悠翔会悠翔会在宅クリニック品川)
小豆畑丈夫(青燈会小豆畑病院)
会田薫子(東京大学大学院)

7: (耳鼻科学会): 高齢者摂食嚥下障害の多面的問題について考える

座長:海老原覚(東北大学大学院)、木村百合香(昭和医科大学)
前田圭介(愛知医科大学)
岡崎達馬(東北大学大学院)
宮城翠(東北大学大学院)
木村百合香(昭和医科大学江東豊洲病院)
杉山庸一郎(佐賀大学)

シンポジウム

1: フレイル高齢者の簡便な予後予測マーカーの探索

座長:梅垣宏行(名古屋大学大学院)、佐竹昭介(国立長寿医療研究センター)
中嶋宏貴(名古屋大学医学部附属病院)
大須賀洋祐(国立長寿医療研究センター)
田村嘉章(東京都健康長寿医療センター科)
宮原周三(国立長寿医療研究センター)
竹屋泰(大阪大学大学院)

2: (日本老年医学会骨折転倒予防対策小委員会企画シンポジウム) 新「骨粗鬆症の予防と治療ガイドライン」について

座長:鈴木敦詞(藤田医科大学)、小川純人(東京大学大学院)
小川純人(東京大学大学院)
岩本潤(慶友整形外科病院骨関節疾患センター)
萩野浩(山陰労災病院)
井上大輔(帝京大学ちば総合医療センター)
鈴木敦詞(藤田医科大学医学部)

3: 血管老化と脳血流低下が認知症に及ぼす影響に対する生理学的考察

座長:藤本直紀(三重大学)、柴田茂貴(杏林大学)
小河繁彦(東洋大学)
菅原順(国立研究開発法人産業技術総合研究所)
平澤愛(杏林大学)
柴田茂貴(杏林大学)

4: 地域を支える老年科医

座長:赤坂憲(岩手医科大学)、小林義雄(医療法人仁成会とやの中央病院)
富田尚希(東北医科薬科大学)
眞部建郎(滋賀医科大学)
小黒亮輔(社会福祉法人寺田萬寿会寺田萬寿病院)
小林義雄(医療法人仁成会とやの中央病院)
小原聡将(岩手県立東和病院内科)

5: 認知症の併存疾患への対応

座長:秋下雅弘(東京都健康長寿医療センター)、小島太郎(国際医療福祉大学)
田村嘉章(東京都健康長寿医療センター)
東浩太郎(東京大学医学部附属病院)
仲上豪二郎(東京大学大学院)

高澤直子(順天堂東京江東高齢者医療センター)
小島太郎(国際医療福祉大学)

6: 内閣府「高齢社会対策大綱」への挑戦と統合的連携

座長:飯島勝矢(東京大学)
飯島勝矢(東京大学)
権丈善一(慶應義塾大学)
藤森克彦(日本福祉大学)
大月敏雄(東京大学大学院)
猪熊律子(読売新聞東京本社)

7: 日本版 5Ms の導入と実践

座長:山本浩一(大阪大学大学院)、梅垣宏行(名古屋大学大学院)
梅垣宏行(名古屋大学大学院)
山田悠史(Icahn School of Medicine at Mount Sinai)
藤本拓(大阪大学大学院)
坂井智達(名古屋大学医学部附属病院)
細井達矢(東京大学医学部附属病院)
関口健二(市立大町総合病院)
山本浩一(大阪大学大学院)

8: 認知症早期発見・早期介入モデルの構築

座長:武地一(藤田医科大学)、櫻井孝(国立長寿医療研究センター研究所)
武田朱公(大阪大学大学院)
片山脩(国立長寿医療研究センター)
藤田康介(国立長寿医療研究センター)
長谷川典子(神戸市福祉局高齢福祉課)
大田秀隆(秋田大学高齢者医療先端研究センター)

9: (科学的介護検討小委員会からの企画シンポジウム) 改定後の科学的介護情報システムの実態と利活用のあり方

座長:近藤和泉(国立長寿医療研究センター)、小川純人(東京大学大学院)
渡邊周介(厚生労働省老健局老人保健課)
神出計(大阪大学大学院)
大河内二郎(社会医療法人若弘会介護老人保健施設竜間之郷)
大浦智子(国立長寿医療研究センター)
指定発言:鳥羽研二(東京都健康長寿医療センター)

10: 地方支部活性化のために何をすべきか

座長:神崎恒一(杏林大学)、宮尾益理子(アットホーム表参道クリニック)
久原真(札幌医科大学)
古川勝敏(東北医科薬科大学)
清水聰一郎(東京医科大学)
佐竹昭介(国立長寿医療研究センター)
森本茂人(ののいちメディカルクリニック)
長井篤(島根大学)
宮野伊知郎(高知大学)
大石充(鹿児島大学)
山本浩一(大阪大学大学院)

11: 高齢者ががん診療 2025～がんをわずらう高齢者が歩む cancer journey～

座長:山本寛(東京都健康長寿医療センター)
山本寛(東京都健康長寿医療センター)
水谷友紀(杏林大学)
小川朝生(国立がん研究センター)
柳川まどか(名古屋大学)

- 石井正紀(東京大学)
津端由佳里(岐阜大学大学院)
渡邊一久(名古屋大学医学部附属病院)
- 12:入院関連合併症—J-HAC 研究の成果—
座長:梅垣宏行(名古屋大学大学院)、竹屋泰(大阪大学大学院)
田島富彦(名古屋大学医学部附属病院)
竹下悠子(大阪大学大学院)
矢可部満隆(東京大学医学部附属病院)
宮原周三(国立長寿医療研究センター)
- 13:リハビリテーションから見た老年医学
座長:加賀谷斉(国立長寿医療研究センター)
岡崎達馬(東北大学大学院)
川手信行(昭和医科大学)
堀内正浩(箱根リハビリテーション病院附属ゆい小田原クリニック)
内山靖(名古屋大学大学院医学系)
- 14:老年医学における社会実装研究～認知症予防のエビデンスを社会実装する～
座長:石井伸弥(メーブルヒル病院)、櫻井孝(国立長寿医療研究センター)
佐々木那津(東京大学大学院)
齋藤順子(帝京大学大学院)
黒田佑次郎(国立長寿医療研究センター研究所)
古和久朋(神戸大学大学院)
野藤悠(東京都健康長寿医療センター研究所)
- 15:老化と腸内細菌叢(老腸相關)
座長:新井康通(慶應義塾大学医学部百寿総合研究所センター)、
佐治直樹(国立長寿医療研究センター)
國澤純(医薬基盤・健康・栄養研究所)
内藤裕二(京都府立医科大学大学院)
田之上大(慶應義塾大学)
佐治直樹(国立長寿医療研究センター)
- 16:実事評価が拓く新時代～認知症診療における運転能力評価のプラットフォーム
座長:島田裕之(国立長寿医療研究センター)、園原和樹(桔梗ヶ原病院)
平井寛(山梨大学大学院総合研究部)
武原格(東京都リハビリテーション病院)
園原和樹(桔梗ヶ原病院)
- 17:高齢者のオンライン診療
座長:海老原寛(東北大学大学院)
野村和至(医療法人社団野村医院)
ゴンレイ(東京都健康長寿医療センター研究所)
田中健一(福島県立医科大学)
栗田主一(東京都健康長寿医療センター)
- 18:多職種連携による在宅療養高齢者の栄養管理・食支援:取り組みと課題
座長:大塚礼(国立長寿医療研究センター)、小野玲(医薬基盤・健康・栄養研究所)
小野玲(医薬基盤・健康・栄養研究所)
大塚礼(国立長寿医療研究センター)
神出計(大阪大学大学院)
中村育子(名古屋大学)
本川佳子(東京都健康長寿医療センター研究所)
- 19:抗 Aβ 療法から見た高齢者アルツハイマー病治療の実際
座長:清水聰一郎(東京医科大学)、岩田淳(東京都健康長寿医療センター)
小原知之(九州大学大学院)
新堂晃大(三重大学医学部附属病院)
井原涼子(東京都健康長寿医療センター)
稲川雄太(東京医科大学)
- 20:人生 100 年時代のウェルビーイング:幸福長寿の指標の開発可能性を探る
座長:権藤恭之(大阪大学)、西田裕紀子(国立長寿医療研究センター研究所)
西田裕紀子(国立長寿医療研究センター研究所)
飯島勝矢(東京大学高齢社会総合研究機構・未来ビジョン研究センター)
斎藤民(国立長寿医療研究センター研究所)
白井こころ(大阪大学大学院)
- 21:高齢者糖尿病治療における最近の進歩
座長:鈴木亮(東京医科大学)、田村嘉章(東京都健康長寿医療センター)
駒津光久(信州大学医学部)
山田祐一郎(関西電力病院)
田村嘉章(東京都健康長寿医療センター)
杉本大貴(国立長寿医療研究センター)
櫻井孝(国立長寿医療研究センター)
- 22:(エンドオブライフ小委員会・倫理委員会)本学会「立場表明」の改訂について考える—最善のエンドオブライフ・ケアのために
座長:原田和昌(東京都健康長寿医療センター)、会田薫子(東京大学大学院)
会田薫子(東京大学大学院)
清水哲郎(一般社団法人臨床倫理研究所)
服部ゆかり(東京大学医学部附属病院)
西川満則(社会福祉法人愛光園介護老人保健施設相生)
會田信子(信州大学学術研究院)
三浦久幸(悠翔会ホームクリニック知多武豊)
- 23:増加する高年齢労働者の転倒災害にどう向き合うか?
座長:樂木宏実(大阪労災病院)、大須賀洋祐(国立長寿医療研究センター)
大須賀洋祐(国立長寿医療研究センター)
大河内二郎(社会医療法人若弘会介護老人保健施設竜間の郷)
柴田圭(労働者健康安全機構労働安全衛生総合研究所)
岡敬之(東京大学)
野藤悠(東京都健康長寿医療センター)
- 24:新しいサルコペニア評価法
座長:梅垣宏行(名古屋大学大学院)、杉本研(川崎医科大学)
長永真明(兵庫県立尼崎総合医療センター)
吉子彰人(中京大学)
井坂昌明(大阪大学医学部附属病院)
小川奈美(坂上デンタルオフィス)
池添冬芽(関西医科大学)
安延由紀子(大阪保健医療大学)
- 25:サルコペニア・フレイルの予防に関するヘルスケアサービス
座長:山本浩一(大阪大学大学院)、前田圭介(愛知医科大学)
前田圭介(愛知医科大学)
牧迫飛雄馬(鹿児島大学)
百崎良(三重大学大学院野)

片山脩(国立長寿医療研究センター)

若林秀隆(東京女子医科大学)

26:介護ロボットや新しい医療介護機器等の利用による高齢者支援の動き

座長:近藤和泉(国立長寿医療研究センター)、高橋聡明(東京大学)

渡辺信彦(経済産業省)

加藤健治(国立長寿医療研究センター)

宮本隆史(社会福祉法人善光会)

芳賀沙織(SOMPO ケア株式会社 Future Care Labin Japan)

高橋聡明(東京大学)

27:認知症共生モデル地域の構築

座長:武地一(藤田医科大学)、進藤由美(東京都健康長寿医療センター)

大田秀隆(秋田大学高齢者医療先端研究センター)

岡村毅(東京都健康長寿医療センター研究所)

山中しのぶ(一般社団法人セカンド・ストーリー)

北川美香(大府市役所健康未来部)

28:高齢者の定義

座長:荒井秀典(国立長寿医療研究センター)

石井伸弥(医療法人社団知仁会メープルヒル病院)

西田裕紀子(国立長寿医療研究センター)

岩崎正則(北海道大学大学院)

原田謙(実践女子大学)

竹本与志人(岡山県立大学)

若手・基礎ミーティング(教育委員会)

座長:浦野友彦(国際医療福祉大学)、竹屋泰(大阪大学大学院)

シニアアドバイザー:石川崇広(東千葉メディカルセンター)、窪菌琢郎(鹿児島大学大学院)、古川勝敏(東北医科薬科大学)

みんなのティーサロン(ダイバーシティ推進委員会)

みんなのティーサロン(第8回)2025—全国の仲間と交流しよう—
オーガナイザー:吉田守美子(四国こどもとおとなの医療センター)

キャスト:宮地佐栄(医療法人溪仁会札幌西円山病院)、白海雲(東北大学病院)、東浩太郎(東京大学医学部附属病院)、飯塚あい(東京都健康長寿医療センター研究所)、前田恵子(名古屋鉄道健康保険組合名鉄病院)、山端潤也(公立能登総合病院)、栗波仁美(日本生命済生会日本生命病院予防医学センター)、内田治仁(岡山大学学術研究院)、竹下実希(特定医療法人竹下会竹下病院)、富士田崇子(野市中央病院)、中村麻弥(鹿児島大学大学院)

第7回日本老年医学会 YIA 受賞者講演

座長:海老原寛(東北大学大学院)、里直行(国立長寿医療研究センター)

高橋侑也(秋田大学医学部附属病院)

辻大士(筑波大学体育系)

杉本大貴(国立長寿医療研究センター)

第1回高齢者栄養研究助成受賞者講演(2023年度受賞)

座長:山本浩一(大阪大学大学院)、古川勝敏(東北医科薬科大学)

井上達朗(新潟医療福祉大学)

北村香織(新潟大学大学院)

小西正紹(横浜市立大学)

竹下ひかり(大阪大学大学院)

渡邊一久(名古屋大学医学部附属病院)

第8回老化および老年医学研究助成受賞者講演(2023年度受賞)

座長:田口明子(順天堂大学)、池田義之(国立病院機構南九州病院)

河原崎和歌子(国際医療福祉大学)

孫輔卿(東京大学)

高橋利匡(大阪大学大学院)

Geriatric research update in Asia:「What's next?」(老年医学会/老年学会合同企画)

座長:荒井秀典(国立長寿医療研究センター)、小島太郎(国際医療福祉大学)

質問者:Liang-Kung Chen(National Yang Ming Chiao Tung University)、Chang Won Won(Kyung Hee University Hospital)、Prasert Assantachai(Mahidol University)、Weerasak Muangpaisan(Mahidol University)、秋下雅弘(東京都健康長寿医療センター)、神崎恒一(杏林大学)、樂木宏実(大阪労災病院)、鳥羽研二(東京都健康長寿医療センター)

発表者:Li-Ning Peng(National Yang Ming Chiao Tung University)、Chih-Kuang Liang(Kaohsiung Veterans General Hospital)、Ming-Yueh Chou(Kaohsiung Veterans General Hospital)、SunYoung Kim(Kyung Hee University)、杉本研(川崎医科大学)、前田圭介(愛知医科大学)

Aging Science Forum

座長:近藤祥司(京都大学)、井上聡(東京都健康長寿医療センター研究所)

Hiroshi Kondoh(Graduate school of medicine Kyoto university)

Yasuhiro Yamada(The University of Tokyo)

Deepak Kumar Saini(Indian Institute for Science)

Takehiko Sasaki(Medical Research Laboratory, Institute of Science Tokyo)

Satoshi Inoue(Tokyo Metropolitan Institute for Geriatrics and Gerontology)

優秀演題賞候補セッション

座長:櫻井孝(国立長寿医療研究センター)、浦野友彦(国際医療福祉大学)

選考委員:新村健(兵庫医科大学)、平野浩彦(東京都健康長寿医療センター)、清水聰一郎(東京医科大学)、杉本研(川崎医科大学)、富田尚希(東北医科薬科大学病院)、竹屋泰(大阪大学大学院)、窪菌琢郎(鹿児島大学大学院)、長澤康行(兵庫医科大学)

「アンジオテンシン変換酵素Ⅱの老化制御機能のメカニズム解明を目指した基礎的検討」竹下ひかり(森ノ宮医療大学)

「体液バイオマーカーを用いた脳アミロイドアンギオパチー関連大脳白質病変の検出/予測」三木渉(大阪大学大学院)

「高齢2型糖尿病患者における認知機能低下予防を目的とした多因子介入の効果検証:大脳白質病変の有無に基づくサブグループ解析(J-MIND-Diabetes)」杉本大貴(国立長寿医療研究センター)

「高齢者2型糖尿病に対する多因子介入でのエネルギー摂取量と認知機能との関係:J-MIND-Diabetesのサブ解析」来住稔(西脇市立西脇病院)

「後期高齢者における総抗コリン薬負荷と要介護認定・認知症・骨折入院の新規発生との関連～国内大規模レセプトデータベースによる検討」尾谷和則(株式会社JMDC)

「地域在住高齢者における客観的・主観的難聴評価と脳萎縮との関連」富田浩輝(国立長寿医療研究センター)

「地域在住高齢者における軽度行動・心理症状と認知機能の関連」見須裕香(国立長寿医療研究センター研究所)

「軽度認知障害, 身体的・認知的フレイルにより認知機能と脳体積が関連する部位が異なる」原田健次(国立長寿医療研究センター)

一般演題:270 題

2. 地方会の開催

第 36 回日本老年医学会 北海道地方会

第 77 回日本老年医学会 関東甲信越地方会

第 36 回日本老年医学会 東北地方会

第 36 回日本老年医学会 東海地方会

第 36 回日本老年医学会 近畿地方会

第 36 回日本老年医学会 北陸地方会

第 37 回日本老年医学会 中国地方会

第 37 回日本老年医学会 四国地方会

第 36 回日本老年医学会 九州地方会

3. その他、セミナー研修会等（定款第 6 条 7 項）

1) 第 19 回老年医学サマーセミナー

主催:国立長寿医療研究センター、日本老年医学会

会期:2025 年 8 月 1 日～8 月 2 日(1 泊 2 日)

開催地:国立長寿医療研究センター

対象:医学部に在籍する学生、初期臨床研修医、専攻医。学会から宿泊を用意し交通費を助成する。

目的:老年医学の最前線を学ぶ

2) 高齢者医療研修会

座学形式の高齢者医療研修会(8 時間程度)を開催する。

ワークショップ形式の高齢者医療研修会(8 時間程度)を開催する。

2025 年 6 月 28 日～6 月 29 日

3) 老人保健施設管理医師総合診療研修会

共催:日本老年医学会、全国老人保健施設協会

協力:国立長寿医療研究センター

Web 研修(座学):2025 年 7 月 1 日～8 月 29 日

Web 研修(グループワーク):2025 年 9 月(予定)

対象:老健施設等に勤務する医師・歯科医師

4) 高齢者栄養療法研修会

第 14 回:2025 年 12 月 20 日～12 月 21 日(予定)

4. 学会誌その他の出版物の刊行（定款第 6 条 2 項）

1) 和文誌「日本老年医学会雑誌」

① 定期号 第 62 巻 2 号～4 号及び第 63 巻 1 号 合計 4 冊発行予定

② Supplement 第 67 回学術集会講演抄録集として第 62 巻の Supplement を 5 月に発行予定

2) 英文誌「Geriatrics & Gerontology International」

月刊誌としてオンラインで年12回発行予定

3) その他の出版物:高齢者の薬物療法に関するガイドラインを発行予定

5. 老年科専門医、指導医、専門研修施設、認定医の認定（定款第 6 条 1 項 3 号）

1) 新専門医制度への対応・整備

「整備基準」について日本専門医機構の承認に向けて対応・整備を行う。

2) 老年科指導医の認定、老年科専門研修施設の認定、老年科専門研修の推進

「整備基準」に基づき作成される申請書類の審査を実施し、新たな老年科指導医、並びに老年科専門研修施設を認定するとともに、老年科専門研修の実施を支援し、優れた老年科専門医の養成を推進する。

3) 老年科専門医認定試験の実施と老年科専門医の認定

老年科専門医認定試験を2025年10月に実施する。引き続きCBT方式にて行う予定。今年度は、昨年度の新作問題等のプール問題について、ブラッシュアップ作業を専門医試験作成・認定小委員会で行う。

4) 高齢者栄養療法認定医と老人保健施設管理認定医の、新規認定と更新認定を進める。

6. 研究の奨励、研究業績の表彰（定款第 6 条 4 項）

1) 尼子賞

老年医学の発展に格別な貢献、功労のあった方を顕彰する。

2) 長寿科学賞

公益財団法人長寿科学振興財団による賞で、日本老年学会の 7 構成学会から 1 名ずつ推薦された受賞者を表彰する。応募時点で 3 年度以上の会員歴、応募年度末で(原則)満 43 歳未満、或いは大学卒業後 18 年以内の会員で、日本老年学会の他の構成学会で同年に設けている「長寿科学賞」に応募していないこと、また「長寿科学賞」の既受賞者でないことを要件とし、1 名選出する。

3) 日本老年医学会 YIA

会員歴 3 年以上、応募年度末で 43 歳未満、或いは大学卒業後 18 年以内の会員を対象とし、基礎研究分野、社会学・疫学研究分野、臨床研究分野の各分野で 1 名を選考し、表彰する。

4) 日本老年医学会 老化および老年医学研究助成

老年医学における基礎、臨床、社会学・疫学研究において、新知見の得られる可能性を持つ革新的な研究プロジェクトに対し、3件を選考し、助成金を授与する。

5) 日本老年医学会 高齢者栄養研究助成

(株)大塚製薬工場からの研究助成。老年栄養学に関する臨床研究、レジストリ構築、基礎研究、調査等の幅広い研究分野より5件を選考し、助成金を授与する。

6) 日本老年医学会優秀論文賞

和文誌:日本老年医学会雑誌第62巻1号から4号(2025年発行)に掲載された論文の中から優秀な論文を選考し、表彰する。

7) Geriatrics & Gerontology International (GGI) 優秀論文賞

英文誌:Geriatrics & Gerontology International Vol.24 Issue1 から Issue12 (2025 年発行)に掲載された論文の中から優秀な論文を選考し、表彰する。

8) 学術集会 優秀演題賞

一般演題の抄録による第一次審査、優秀演題賞候補セッションにおける口述発表による第二次審査を経て、優秀な演題を若干名選出し表彰する。

7. 内外の関連学術団体との連絡及び協力（定款第 6 条 1 項 5 号）

1) 加盟学術団体である日本老年学会の運営を、日本老年社会学会、日本基礎老化学会、日本老年歯科医学会、日本ケアマネジメント学会、日本老年看護学会、日本老年薬学会と共に協議協力

する。

- 2) 日本老年学会として加盟している国際老年学協会 International Association of Gerontology and Geriatrics (IAGG)の活動に参加協力する。

8. その他、目的を達成するために必要な事業（定款第6条1項8号）

1) 各種委員会（あり方委員会、あり方WG、財務委員会、総務委員会、雑誌編集委員会、GGI編集委員会、専門医制度委員会、老年科専門医検討小委員会、専門医試験作成・認定小委員会、高齢者医療研修委員会、研修認定審査小委員会、学術プログラム委員会、高齢者医療委員会、保険診療小委員会、認知症対策小委員会、在宅医療小委員会、高齢者災害医療小委員会、感染症対策・ワクチン療法小委員会、骨折転倒対策小委員会、科学的介護検討小委員会、高齢者がん診療小委員会、学術委員会、フレイル・サルコペニア対策小委員会、高齢者糖尿病の治療質向上のための合同委員会、高齢者薬物療法対策小委員会、基礎研究部会、CGA・5Ms最適化・普及WG、教育委員会、用語委員会、顕彰委員会、優秀論文賞選考委員会、老化および老年医学研究助成選考委員会、高齢者栄養研究助成選考委員会、YIA選考委員会、倫理委員会、エント・オブ・ライフに関する小委員会、利益相反委員会、GL統括委員会、国際交流委員会、国内交流委員会、ダイバーシティ推進委員会、広報委員会（選挙管理委員会）を開催し、本会の目的を達成するため種々の検討を行い活動する。

2) 市民公開シンポジウムは学術集会・地方会カリキュラムの中で開催予定。

至 2026年3月31日

至	2026 年 3 月 31 日
目	当期手续费

期		2022年 3月31日		前期並行年度		前年度並行年度		期差		備考	
1	1.事業活動収支の部										
2	1.事業活動収入										
3	基本財産運用収入		(2,000)		(2,000)		(0)				
4	会費収入		(70,900)		(77,000)		(△ 600)				
5	正会費会費収入		75,000		75,000		0				
6	賛助会員会費収入		1,800		2,000		△ 200				
7	会費寄付収入		(21,350)		(21,350)		(0)				
8	会費代金控除収入		250		250		0				
9	会費代金控除返戻収入		1,000		1,000		0				
10	会費振替戻金収入		100		100		0				
11	会費振替戻金返戻収入		20,000		20,000		0				
12	研修会収入		(13,000)		(3,400)		(9,600)				
13	研修会収入		13,000		3,400		9,600				△(会費寄附金返戻金収入)等 会費寄附金返戻金収入
14	会費寄附金収入		(1,240)		(2,000)		(△ 759)				
15	会費寄附金返戻金収入		500		500		0				
16	会費寄附金返戻金収入		500		500		0				
17	会費寄附金返戻金収入		240		1,000		△ 759				2022年3月末日
18	収入		(58)		(2,088)		(△ 1,950)				
19	受取利息収入		8,000		8,000		0				
20	受取利息収入		8,000		8,000		0				
21	受取利息収入		8,000		8,000		0				
22	受取利息収入		8,000		8,000		0				
23	受取利息収入		8,000		8,000		0				
24	受取利息収入		8,000		8,000		0				
25	受取利息収入		8,000		8,000		0				
26	受取利息収入		8,000		8,000		0				
27	受取利息収入		8,000		8,000		0				
28	受取利息収入		8,000		8,000		0				
29	受取利息収入		8,000		8,000		0				
30	受取利息収入		8,000		8,000		0				
31	受取利息収入		8,000		8,000		0				
32	受取利息収入		8,000		8,000		0				
33	受取利息収入		8,000		8,000		0				
34	受取利息収入		8,000		8,000		0				
35	受取利息収入		8,000		8,000		0				
36	受取利息収入		8,000		8,000		0				
37	受取利息収入		8,000		8,000		0				
38	受取利息収入		8,000		8,000		0				
39	受取利息収入		8,000		8,000		0				
40	受取利息収入		8,000		8,000		0				
41	受取利息収入		8,000		8,000		0				
42	受取利息収入		8,000		8,000		0				
43	受取利息収入		8,000		8,000		0				
44	受取利息収入		8,000		8,000		0				
45	受取利息収入		8,000		8,000		0				
46	受取利息収入		8,000		8,000		0				
47	受取利息収入		8,000		8,000		0				
48	受取利息収入		8,000		8,000		0				
49	受取利息収入		8,000		8,000		0				
50	受取利息収入		8,000		8,000		0				
51	受取利息収入		8,000		8,000		0				
52	受取利息収入		8,000		8,000		0				
53	受取利息収入		8,000		8,000		0				
54	受取利息収入		8,000		8,000		0				
55	受取利息収入		8,000		8,000		0				
56	受取利息収入		8,000		8,000		0				
57	受取利息収入		8,000		8,000		0				
58	受取利息収入		8,000		8,000		0				
59	受取利息収入		8,000		8,000		0				
60	受取利息収入		8,000		8,000		0				
61	受取利息収入		8,000		8,000		0				
62	受取利息収入		8,000		8,000		0				
63	受取利息収入		8,000		8,000		0				
64	受取利息収入		8,000		8,000		0				
65	受取利息収入		8,000		8,000		0				
66	受取利息収入		8,000		8,000		0				
67	受取利息収入		8,000		8,000		0				
68	受取利息収入		8,000		8,000		0				
69	受取利息収入		8,000		8,000		0				
70	受取利息収入		8,000		8,000		0				
71	受取利息収入		8,000		8,000		0				
72	受取利息収入		8,000		8,000		0				
73	受取利息収入		8,000		8,000		0				
74	受取利息収入		8,000		8,000		0				
75	受取利息収入		8,000		8,000		0				
76	受取利息収入		8,000		8,000		0				
77	受取利息収入		8,000		8,000		0				
78	受取利息収入		8,000		8,000		0				
79	受取利息収入		8,000		8,000		0				
80	受取利息収入		8,000		8,000		0				
81	受取利息収入		8,000		8,000		0				
82	受取利息収入		8,000		8,000		0				
83	受取利息収入		8,000		8,000		0				
84	受取利息収入		8,000		8,000		0				
85	受取利息収入		8,000		8,000		0				
86	受取利息収入		8,000		8,000		0				
87	受取利息収入		8,000		8,000		0				
88	受取利息収入		8,000		8,000		0				
89	受取利息収入		8,000		8,000		0				
90	受取利息収入		8,000		8,000		0				
91	受取利息収入		8,000		8,000		0				
92	受取利息収入		8,000		8,000		0				
93	受取利息収入		8,000		8,000		0				
94	受取利息収入		8,000		8,000		0				
95	受取利息収入		8,000		8,000		0				
96	受取利息収入		8,000		8,000		0				
97	受取利息収入		8,000		8,000		0				
98	受取利息収入		8,000		8,000		0				
99	受取利息収入		8,000		8,000		0				
100	受取利息収入		8,000		8,000		0				
101	受取利息収入		8,000		8,000		0				
102	受取利息収入		8,000		8,000		0				
103	受取利息収入		8,000		8,000		0				
104	受取利息収入		8,000		8,000		0				
105	受取利息収入		8,000		8,000		0				
106	受取利息収入		8,000		8,000		0				
107	受取利息収入		8,000		8,000		0				
108	受取利息収入		8,000		8,000		0				
109	受取利息収入		8,000		8,000		0				
110	受取利息収入		8,000		8,000		0				
111	受取利息収入		8,000		8,000		0				
112	受取利息収入		8,000		8,000		0				
113	受取利息収入		8,000		8,000		0				
114	受取利息収入		8,000		8,000		0				
115	受取利息収入		8,000		8,000		0				
116	受取利息収入		8,000		8,000		0				
117	受取利息収入		8,000		8,000		0				
118	受取利息収入		8,000		8,000		0				
119	受取利息収入		8,000		8,000		0				
120	受取利息収入		8,000		8,000		0				
121	受取利息収入		8,000		8,000		0				
122	受取利息収入		8,000		8,000		0				
123	受取利息収入		8,000		8,000		0				
124	受取利息収入		8,000		8,000		0				
125	受取利息収入		8,000		8,000		0				
126	受取利息収入		8,000		8,000		0				
127	受取利息収入		8,000		8,000		0				
128	受取利息収入		8,000		8,000		0				
129	受取利息収入		8,000		8,000		0				
130	受取利息収入		8,000		8,000		0				
131	受取利息収入		8,000		8,000		0				
132	受取利息収入		8,000		8,000		0				
133	受取利息収入		8,000		8,000		0				
134	受取利息収入		8,000		8,000		0				
135	受取利息収入		8,000		8,000		0				
136	受取利息収入		8,000		8,000		0				
137	受取利息収入		8,000		8,000		0				
138	受取利息収入		8,000		8,000		0				
139	受取利息収入		8,000		8,000		0				
140	受取利息収入		8,000		8,000		0				
141	受取利息収入		8,000		8,000		0				
142	受取利息収入		8,000		8,000		0				
143	受取利息収入		8,000		8,000		0				
144	受取利息収入		8,000		8,000		0				
145	受取利息収入		8,000		8,000		0				
146	受取利息収入		8,000		8,000		0				
147	受取利息収入		8,000		8,000		0				
148	受取利息収入		8,000		8,000		0				
149	受取利息収入		8,000		8,000		0				
150	受取利息収入		8,000		8,000		0				
151	受取利息収入		8,000		8,000		0				
152	受取利息収入		8,000		8,000		0				
153	受取利息収入		8,000		8,000		0				
154	受取利息収入		8,000		8,000		0				
155	受取利息収入		8,000		8,000		0				
156	受取利息収入		8,000		8,000		0				
157	受取利息収入		8,000		8,000		0				
158	受取利息収入		8,000		8,000		0				
159	受取利息収入		8,000		8,000		0				
160	受取利息収入		8,000		8,000		0				
161	受取利息収入		8,000		8,000		0				
162	受取利息収入		8,000		8,000		0				
163	受取利息収入		8,000		8,000		0				
164	受取利息収入		8,000		8,000		0				
165	受取利息収入										